

令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立釜子小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%					○
算数	63.4%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%					○
情報の扱い方に関する事項	86.9%	○				
我が国の言語文化に関する事項	74.6%			○		
話すこと・聞くこと	59.8%				○	
書くこと	68.4%					○
読むこと	70.7%					○

【考察】

- 多くの領域で全国平均を上回りました。特に、物語を読んで、心に残ったところとその理由を書くという問題がよくできていました。授業の中で、書く活動を多く取り入れ、毎週末の作文の課題に取り組みさせてきた成果です。
- 「情報の扱い方に関する事項」では、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題が見られました。複数の情報を整理して読む力をつけるために、気付いたことを書き込んだり、目的に応じて図などに表したりできるよう指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%	○				
図形	66.3%	○				
変化と関係	51.7%			○		
データの活用	61.8%	○				

【考察】

- 「図形」領域では、円柱の正しい展開図を選択したり、球がぴったり入る立方体の体積を求めたりする問題に課題が見られました。図形の意味や性質について確実に理解できるよう、図形を実際に動かしたり分解したりするといった操作活動を取り入れた授業を実践していきます。
- 問題文を正確に読み取り、数量の関係を正しく捉え、問題の解決方法を式や言葉、図などを用いて説明することができるように引き続き指導していきます。

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立釜子小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
6	釜子小	43.8	50.0	6.3	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 新しい問題に出会ったとき、どの考えや方法が使えるのか、既習の内容を振り返ることができています。今後も、授業では自分の考えをもつ時間を確保し、友だちと交流しながら考える楽しさを感じられるようにしていきます。
- 1つの考えや方法だけでなく、他にもよい手立てはないか考えるなど、思考力をさらに伸ばすことができるように指導していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
6	釜子小	6.3	25.0	43.8	18.8	0.0	6.3

(単位 %)

【考 察】

- 半数以上の児童が、学年の目安である70分以上（学年×10分+10分）、学習に取り組んでいることが分かります。一方で、学年の目安時間に達していない児童が約25%いることから、家庭学習の計画の立て方や自主学習の取り組み方を紹介したり、放課後における家庭での過ごし方について保護者との連携を図ったりしながら、家庭学習の質や量を高めていきます。
- 「家庭学習の手引き」を基に、「ゆっくり丁寧に書く」、「繰り返し取り組む」、「声に出して読む」など、家庭学習のやり方を再確認したり、意欲的に取り組んでいる児童を称賛し、そのノートを紹介したりするなど、学級全体の意欲を高めていけるようにします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.9	48.9	16.0	3.1
6	釜子小	62.5	25.0	12.5	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 8割以上の児童が、既習の学習を振り返り、次の学習につなげていることが分かります。毎日の授業でも、「自主学習でしっかり復習したい」「何回も問題を解いてできるようにしたい」などとノートに書いている児童が多いです。自主学習では、苦手な教科のポイントをまとめたり、問題を解いたりする姿が見られます。
- 授業の中で、学習を振り返る時間を設定し、学習した内容を新しい内容につなげられるようにしています。できる楽しさや喜びを感じられる授業づくりに励み、子ども達の学習意欲をさらに向上させられるようにしていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	47.8	43.8	6.7	1.6
6	釜子小	81.3	12.5	6.3	0.0

【考 察】

- 約94%の児童が、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しています。授業では、ペアやグループ学習を通して、課題解決に向けて考えを伝え学び合っています。考えを交流し意見を出し合うことで、課題解決できる楽しさを実感できる授業づくりをしています。
- 楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-Uテスト）を活用しながら、児童の実態を適切に把握し、一人一人が互いに認め合い、安心して生活できる学級集団を目指していきます。